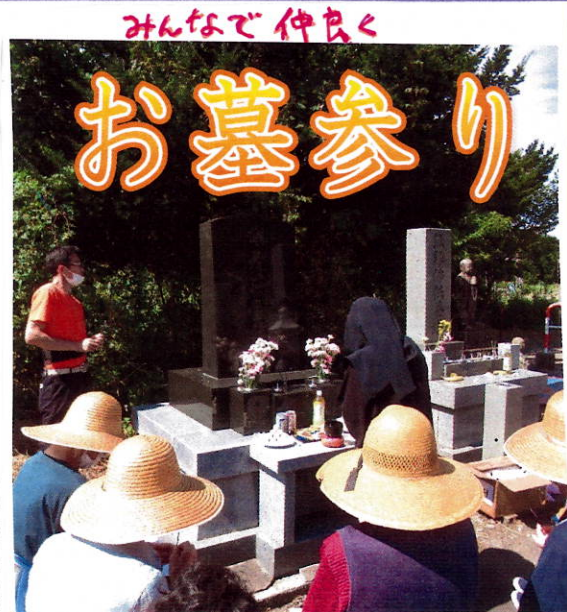


潮寿荘 だより 石井シゲ子

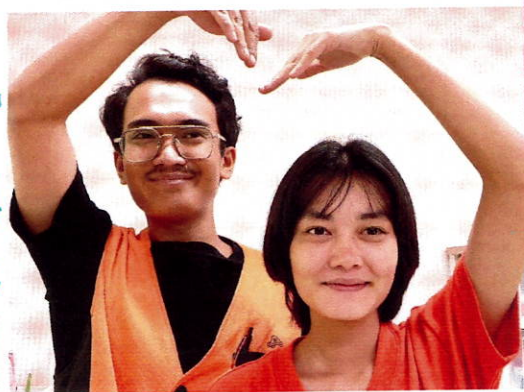
令和7年9月15日発行
発行：特別養護老人ホーム 潮寿荘
記事：9月担当潮寿荘職員
編集：潮寿荘だより編集委員
題字：石井シゲ子 (91歳)



潮寿荘の合同霊廟は、小安墓地の一番手前、無縁仏の隣りにあります。8月14日、最近熊出沒がニュースになっている地域ではありますが、天候にも恵まれ、今年も施設長・介護士・営繕・入居者さまで恒例のお墓参りに行ってきました。

最初に施設長が線香をあげ合掌し、続いて入居者様がお参りしていきました。一通り手を合わせた後は、供物を皆で食べました。その間、施設長がお墓に入っている方々の名前を読み上げると、皆、お菓子を食べながら真剣に聞いておられました。潮寿荘のお墓には今、17人の方が入っておられます。私達がお参りに行った時もどなたかが墓参してくれられた時もありました。潮寿荘のお墓は家紋が入る所に潮寿荘のロゴマークの亀が彫られています。私達はこのマークを『潮亀(チヨガメ)』と呼んでいて、制服にも入っています。潮寿荘のお墓も職員や遺族の方々に愛され大切に守られています。これからもお盆の時期には、皆さんがいつも健康で笑顔で楽しい毎日が送れるよう見守ってまいります。ように、と手を合わせに行きます。(最近狩りに行く回数が減ったらしい鉄砲打ちの介護士・斎藤)

留学生紹介



私の名前はイゴファティラアマド。24才です。インドネシアから来ました。趣味はサッカー観戦で、特技はサッカーをすることです。日本の文化や専門学校を学びたいです。いつか介護福祉士のしかくをとりたいたです。年越しやおしょうがつを経験することが楽しみです。

私の名前はイ・イ・ニエインです。誕生日は2003年6月3日です。ミャンマーから来ました。どくしんです。私は今年4月16日に日本に来ました。家族は5人います。母と姉が2人と妹が一人と私です。趣味は映画を見ることと音楽を聴くことです。日本のアニメがとても好きです。日本の歌もよく聴いています。特技は人とコミュニケーションをとることです。日本語学校で日本語を勉強しながら日本語をもっと上手

になりたいです。そして介護の仕事に役立つ日本語も勉強したいです。日本の文化や生活を体験できることを楽しみにしています。私は外国人なので、自分の国と日本では介護のやり方に違いがあると感じました。また介護の機械の使い方が分からないことや日本語の理解が難しいこともあります。しかし職員の皆さんがとても優しく丁寧に教えてくださったので今は少しずつ慣れてきました。日本に来ておどろいたことは街がとても静かで、きれいで、空気もいいところです。みんな規律を守っていて、ごみの分別もすごくしっかりしています。それから学生もアルバイトをしながら時間を守っているのを見てびっくりしました。いじょうでございます。ニエイン

まだ日本語を勉強中なので、たいへんですが優しいおじいちゃんとおばあちゃんと話すことがすごく楽しいです。日本語をいっぱい勉強して、しごとでもたくさん覚えたいです。日本でびっくりしたことは、ごみの分別と時間です。ゴミは曜日によって出すのがちがってて、とてもきびしいと思います。そして日本人は時間をよく守ります。バスも時間どおり来るのでインドネシアとちがってびっくりしました。イゴ



いつも人形作家の西野美津子さんの作品を展示している熱帯海水魚の水槽横のコーナー。
8月は別の作品をお借りして展示しました

8月27日、夜。今まで参加というより見学が多かった夜の避難訓練。今回ついに夜勤者役(本当の夜勤者がやる)とその後の夜勤業務に差し支えるので、訓練時は日勤者の中から夜勤者役が指名されます)になりました。その日一日ちよっとドキドキしておりました。



午後6時、訓練の流れなど説明が始まりさらにドキドキ。始まるまで緊張を紛らわせようとするも効果無く、ついに開始時間に、外も暗くなつた

6時半、施設内をシリシリシリとサイレンが鳴り響く。私は消火器を持ってボイラー室へ走る。もう一人の夜勤役は「火事です訓練です」と館内放送。私は初期消火失敗した体で走って戻ると消防からの電話が鳴っている。訓練であることを伝え事前に聞いていた通りの質問が来ると思いきや、違う質問がきて戸惑いオドオド。電話越しの声が小さく何度か聞き返してしまふ。しかも走ってきたせいで息切れで苦しい。体の衰えを感じたところで入居者を避難場所まで誘導するためダッシュ。起こして車いすに乗せ、廊下は走ってはダメと思いつつ急いで進む。

「火事だあ」と叫びながらなのでさらに息が切れる。汗をかきながら部屋を回る。暫くすると応援職員が到着。歩ける方々が廊下に出てこれれ「ビックリした火事なの?外に行くの?」と不安そうにされる。これは訓練ですよ、と説明し椅子に座っていただく。

参加入居者37名の避難完了まで12分。夜勤者2名十途中から参加(職員アパートなど近所の)応援職員5名での避難誘導。消防の方から「この時間でこれだけの人数を避難させることができたのはすごい!!ですが、走らず誘導するようにしましょう」との講評をいただきました。確かに走って転んでケガをしたら意味が無い。また訓練に参加することがあれば走らずちよっと早歩きで誘導したいと思います。

(体力が落ち訓練中に自分が倒れるかもと心配になった介護士・真衣)

10月までい

6日(月) お月見

〃 鍋会食(カレー鍋)

8日(水) 誕生会 花クラブ

13日(月) 手合せのバイキング

16日(木) 戸井学園生徒さんと

運動会

19日(日) 道南駅伝・出場します!

20日(月) 薬味白湯鍋会食

〃 花クラブ

23日(木) 梅田文世詩吟の会

〃 土砂災害避難訓練



9月4日5日札幌で開催された全道老人福祉施設研究大会
参加者198人。発表24件。潮寿荘は孝樹&池浦介護士が『腰痛なく働くための10年チャレンジ!』というテーマで発表してきました★



戸井福祉会では、施設内で日建学院による介護福祉士『実務者研修』を行っています。潮寿荘と潮太郎の介護福祉士を目指す職員4名が生徒です。8月13日は介護の5回目。11月からは医療ケアの勉強に入ります